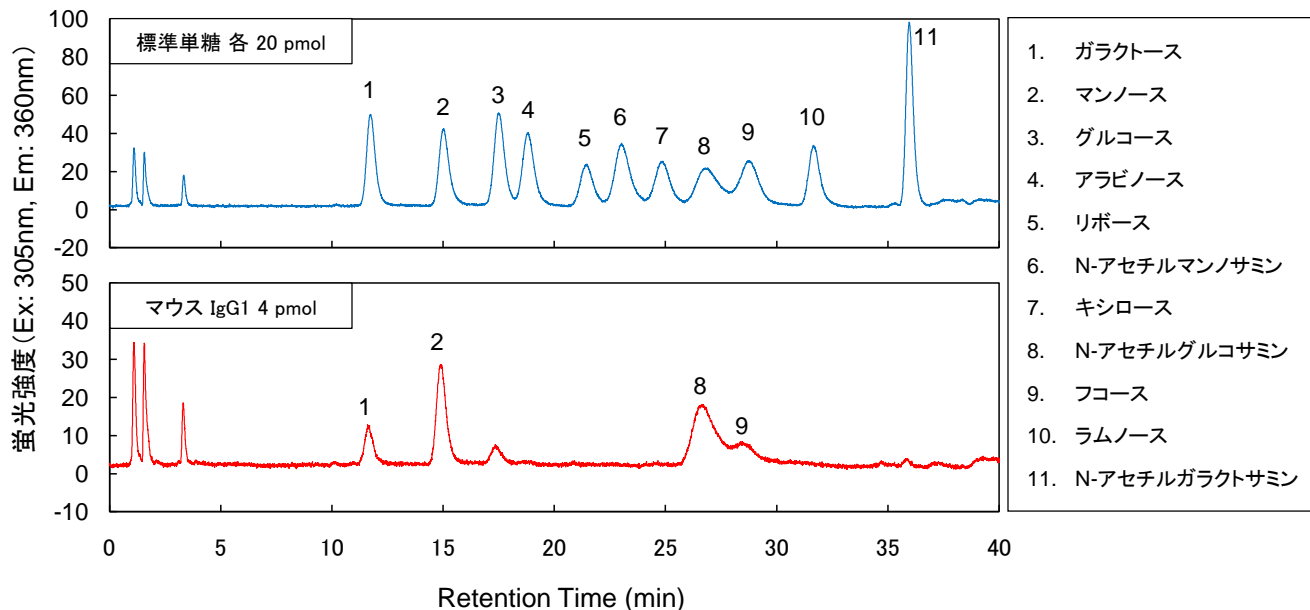


アプリケーションデータ

No.019

糖組成分析: マウス IgG1 の糖組成分析

図 1. マウス IgG1 の糖組成分析データ



実験プロトコール

サンプル: マウス IgG1

酸加水分解 (4M TFA 存在下)

↓ (100°C、3時間)

N-アセチル化

↓

ABEE 標識化

↓ (80°C、1時間)

水/クロロホルム抽出

↓ (水層を回収)

HPLC 分析

表 1. マウス IgG1 (4 pmol) の糖組成の定量分析結果

成分名	定量値 [pmol]	相対モル比
ガラクトース	4	1.0
マンノース	13	3.1
N-アセチルグルコサミン	15	3.7
フコース	4	1.0

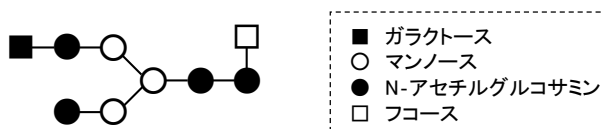
HPLC 分析条件

カラム: PN-PAK C18 カラム (3.0 x 75mm)

溶離液: ホウ酸 buffer / Acetonitrile

検出: 蛍光 (Ex:305nm, Em:360nm)

図 2. 組成比から推測される糖鎖の構造式の1例



分析結果

・マウス腹水より精製したマウスモノクローナル IgG1 (4 pmol) の糖組成分析を行った結果、ガラクトース (4 pmol)、マンノース (13 pmol)、N-アセチルグルコサミン (15 pmol)、フコース (4 pmol) が検出された。

・各糖の定量値から計算したモル比は、ガラクトース:マンノース:N-アセチルグルコサミン:フコース = 1.0:3.1:3.7:1.0 (≒ 1:3:4:1) となった。この組成比から推測される糖鎖構造式の1例を図2に示した。

プロテノバ株式会社

〒769-2604

香川県東かがわ市西村1488番地1

TEL 0879-49-0702 / FAX 0879-49-0703

URL: <http://protenova.com>